



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社KADOKAWA

コード番号 9468 URL <https://ir.kadokawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 真樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 CFO (氏名) 安本 洋一 TEL 03-5216-8212

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|-------|-------|-------|------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第2四半期 | 97,553 | △2.9 | 7,847 | 22.8 | 8,140 | 19.6 | 5,206 | △16.1 |
| 2020年3月期第2四半期 | 100,439 | △1.7 | 6,389 | 123.1 | 6,805 | 72.9 | 6,202 | 192.7 |

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 8,829百万円（7.9%） 2020年3月期第2四半期 8,183百万円（129.7%）

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | EBITDA | |
|---------------|-----------------|----------------------------|--------|------|
| | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % |
| 2021年3月期第2四半期 | 84.57 | — | 9,813 | 18.0 |
| 2020年3月期第2四半期 | 98.45 | — | 8,313 | 41.1 |

（注）EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期第2四半期 | 241,173 | 114,621 | 46.7 | 1,827.74 |
| 2020年3月期 | 242,995 | 107,375 | 43.3 | 1,711.55 |

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 112,573百万円 2020年3月期 105,302百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 0.00 | — | 30.00 | 30.00 |
| 2021年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2021年3月期（予想） | — | — | — | 30.00 | 30.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | EBITDA | |
|----|---------|-----|--------|------|--------|------|---------------------|------|----------------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | 百万円 | % |
| 通期 | 208,000 | 1.6 | 10,500 | 29.8 | 11,000 | 25.2 | 7,300 | △9.9 | 118.52 | 15,000 | 15.8 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

配当予想及び連結業績予想の修正につきましては、本日（2020年10月29日）公表いたしました「2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期2Q | 70,892,060株 | 2020年3月期 | 70,892,060株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期2Q | 9,300,128株 | 2020年3月期 | 9,367,523株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年3月期2Q | 61,561,894株 | 2020年3月期2Q | 62,998,320株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報) | 10 |
| (重要な後発事象) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、中長期的な持続的成長及び企業価値の向上を図るべく、書籍、映画、アニメ、ゲーム、及びUGC (User Generated Content) プラットフォーム等を通じて多彩なポートフォリオから成るIP (Intellectual Property) を安定的に創出し、それらを世界に広く展開することを中核とする「グローバル・メディアミックス」の推進を基本戦略としております。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高975億53百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益78億47百万円（前年同期比22.8%増）、経常利益81億40百万円（前年同期比19.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益52億6百万円（前年同期比16.1%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、以下のとおりです。なお、2020年10月29日に公表いたしました中期経営方針における成長事業領域の位置付けに合わせ、当第2四半期連結会計期間より、従来の「映像・ゲーム」セグメントを「映像」「ゲーム」に区分して記載する方法に変更しております。

[出版事業]

出版事業では、書籍、雑誌及び電子書籍・電子雑誌の販売、雑誌広告・Web広告の販売、権利許諾等を行っております。当事業においては、メディアミックス展開の重要な源泉として年間5,000タイトルにおよぶ新作を継続的に発行しており、蓄積された紙書籍11万点、電子書籍6万点にもおよぶ作品アーカイブが、当社グループ成長の原動力となっております。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、第1四半期に都市部の書店の営業自粛による影響があったものの、「ダンジョン飯(9)」（コミックス）、「ソードアート・オンライン(24) ユニタール・リングIII」（ライトノベル）、「あやかし草紙 三島屋変調百物語伍之続」「青くて痛くて脆い」（一般文庫）、「あつまれ どうぶつの森 ザ・コンプリートガイド」「世界一美味しい手抜きごはん最速！ やる気のいらない100レシピ」（一般書）等の販売が好調に推移しました。また、商品化・ゲーム化等の権利許諾も収益貢献しました。

電子書籍・電子雑誌は、市場全体が伸長していることに加え、機動的なマーケティング施策により引き続き好調に推移し、第1四半期に続いて、第2四半期においても四半期ベースで過去最高の売上高を更新いたしました。

この結果、当事業の売上高は601億29百万円（前年同期比7.0%増）、セグメント利益（営業利益）は46億80百万円（前年同期比41.5%増）となりました。

なお、現在、埼玉県所沢市において、2022年3月期までの書籍製造・物流工場の稼働に向けて準備を進めております。すでに一部の文庫やライトノベル、新書、コミックにおいては、デジタル印刷による小ロット・適時製造及び適時配送を開始しておりますが、今後これらの更なる拡充・強化を図ってまいります。これにより、返品削減、製造コスト削減、利益率の向上に取り組んでまいります。

[映像事業]

映像事業では、映画の企画・製作・配給、映像配信権等の権利許諾、パッケージソフトの販売等を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、北米、中国に向けたアニメ「Re:ゼロから始める異世界生活」「デカダンス」「天晴爛漫!」「宇崎ちゃんは遊びたい!」等の海外権利許諾や国内配信収入に加え、「この素晴らしい世界に祝福を!ファンタスティックデイズ」等の当社IPを活用し、他社が配信するオンラインゲームとのコラボレーションによる権利許諾が引き続き収益貢献しました。一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、第1四半期を中心に映画館の営業自粛や座席数の制限による映画配給やデジタル映画鑑賞券「ムビチケ」等への影響が見られました。映像・音響制作を手掛けるスタジオ事業については、第1四半期に新型コロナウイルス感染症による減収影響を受けたものの、第2四半期には前年同期の水準まで回復しております。

この結果、当事業の売上高は132億32百万円（前年同期比17.6%減）、セグメント利益（営業利益）は8億42百万円（前年同期比52.1%減）となりました。

[ゲーム事業]

ゲーム事業では、ゲームソフトウェア及びネットワークゲームの企画・開発・販売、権利許諾等を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、3月発売の「ポケモン不思議のダンジョン 救助隊DX」のほか、「SEKIRO: SHADOWS DIE TWICE」「DARK SOULS」シリーズ等のリピーター販売が引き続き好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は83億1百万円（前年同期比9.6%増）、セグメント利益（営業利益）は28億4百万円（前年同期比48.5%増）となりました。

[Webサービス事業]

Webサービス事業では、動画コミュニティサービスの運営、各種イベントの企画・運営、モバイルコンテンツの配信等を行っております。

動画配信サービス「ニコニコ動画」の月額有料会員（プレミアム会員）は、9月末には159万人となり、3月末の163万人からは減少となりました。動画・生放送・ブログなどを配信できるプラットフォーム「ニコニコチャンネル」の有料会員数は9月末には124万人となり、3月末の117万人から、引き続き堅調に増加しております。4月開催の「ニコニコ超会議」及び8月開催の世界最大のアニソンライブ「Animelo Summer Live」は、新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえリアルイベントとしての開催を見送りましたが、インターネット上に特化した「ニコニコネット超会議2020」（ネット来場者数1,638万1,426人）及び「ニコニコネット超会議2020夏」（ネット来場者数1,773万8,806人）、「Animelo Summer Night in Billboard Live」を開催し、好評を博しました。ネットによる開催としたことにより、前年に比べて売上は減少し、リアルイベント中止に伴う費用は発生したものの、Webサービス事業全体の収益性は維持しました。

この結果、当事業の売上高は108億61百万円（前年同期比17.5%減）、セグメント利益（営業利益）は12億9百万円（前年同期比24.0%減）となりました。

[その他事業]

その他事業では、教育事業、インバウンド関連事業、キャラクターグッズ及びアイドルCDの企画・販売等のMD事業を行っております。

MD事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、アイドルCDの発売延期等により減収となりました。一方、教育事業においては、クリエイティブ分野に特化した高等教育の運営を行う㈱バンタン、インターネットによる通信制高校であるN高等学校等に教育コンテンツの提供を行う㈱ドワンゴの収益貢献により、引き続き好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は85億27百万円（前年同期比10.1%減）、セグメント損失（営業損失）は14億57百万円（前年同期 営業損失11億67百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて18億22百万円減少し、2,411億73百万円となりました。これは主にところざわサクラタウンの建設及び角川第一本社ビルの一部取得による固定資産の増加や保有株式の時価の上昇等により投資有価証券が増加した一方、支払手形及び買掛金、未払金及び固定資産の取得に対する支払い等により現金及び預金が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて90億69百万円減少し、1,265億51百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金、未払金等が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて72億46百万円増加し、1,146億21百万円となりました。これは主に配当金の支払い等により利益剰余金が減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加し、保有株式の時価総額増加によりその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上等により、25億26百万円の収入（前年同期は86億92百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出139億80百万円があった一方、定期預金の払い戻しによる収入等があったこと等により、11億82百万円の支出（前年同期は250億67百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い（1株当たり10円増配）等により、18億94百万円の支出（前年同期は41億73百万円の支出）となりました。

以上の結果、為替換算差額も含めて6億74百万円の支出となり、現金及び現金同等物の当四半期末残高は、378億49百万円となりました。

当社グループの短期運転資金は基本的に自己資金より充当し、設備投資資金や長期運転資金につきましては、事業計画に基づく資金需要、金利動向等の調達環境を勘案の上、金融機関からの長期借入や社債発行及び株式発行により適宜調達を行っております。

また、複数の金融機関と総額150億円のコミットメントライン契約を締結し、流動性を補完しております。なお、当第2四半期連結会計期間末の借入実行残高はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、当社が2020年5月14日に公表した「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」においては、新型コロナウイルス感染症拡大による当社事業への影響に関して不確実性が高いことから未定としておりました。新型コロナウイルス感染症の終息時期は依然として不透明な状況が続いておりますが、当第2四半期連結累計期間における状況、今後も継続と思われるコンテンツの需要増、書店や映画館における客足数減等による出版・映画事業への影響など、現時点で予測される影響を踏まえ、売上高2,080億円、営業利益105億円、経常利益110億円、親会社株主に帰属する当期純利益73億円、EBITDA150億円を見込んでおります。

なお、上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|-------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 74,880 | 60,998 |
| 受取手形及び売掛金 | 39,107 | 36,021 |
| 有価証券 | — | 1,000 |
| たな卸資産 | 18,974 | 21,264 |
| 前払費用 | 1,651 | 1,447 |
| 預け金 | 3,433 | 2,398 |
| その他 | 6,759 | 7,851 |
| 貸倒引当金 | △887 | △931 |
| 流動資産合計 | 143,919 | 130,049 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 16,827 | 33,930 |
| 減価償却累計額 | △6,809 | △7,033 |
| 建物及び構築物 (純額) | 10,018 | 26,896 |
| 機械及び装置 | 2,574 | 2,650 |
| 減価償却累計額 | △1,390 | △1,622 |
| 機械及び装置 (純額) | 1,184 | 1,027 |
| 工具、器具及び備品 | 8,433 | 9,631 |
| 減価償却累計額 | △7,159 | △7,260 |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 1,273 | 2,371 |
| 土地 | 20,597 | 22,529 |
| 建設仮勘定 | 26,992 | 15,865 |
| その他 | 707 | 835 |
| 減価償却累計額 | △375 | △529 |
| その他 (純額) | 331 | 305 |
| 有形固定資産合計 | 60,398 | 68,995 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 4,292 | 4,369 |
| のれん | 456 | 413 |
| その他 | 1,273 | 1,772 |
| 無形固定資産合計 | 6,022 | 6,554 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 22,871 | 28,397 |
| 退職給付に係る資産 | 48 | 41 |
| 繰延税金資産 | 3,270 | 690 |
| 保険積立金 | 1,806 | 1,958 |
| 差入保証金 | 3,905 | 3,862 |
| その他 | 1,050 | 992 |
| 貸倒引当金 | △295 | △369 |
| 投資その他の資産合計 | 32,655 | 35,573 |
| 固定資産合計 | 99,076 | 111,124 |
| 資産合計 | 242,995 | 241,173 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 24,577 | 21,211 |
| 短期借入金 | 524 | 571 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | — | 10,000 |
| 未払金 | 8,893 | 7,776 |
| 未払法人税等 | 2,464 | 1,983 |
| 前受金 | 9,612 | 7,310 |
| 預り金 | 3,733 | 4,756 |
| 賞与引当金 | 3,200 | 3,340 |
| ポイント引当金 | 176 | 172 |
| 返品引当金 | 6,623 | 5,405 |
| 株式給付引当金 | 221 | 174 |
| 役員株式給付引当金 | 194 | 113 |
| その他 | 4,953 | 3,217 |
| 流動負債合計 | 65,176 | 66,034 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 65,000 | 55,000 |
| 繰延税金負債 | 901 | 645 |
| 退職給付に係る負債 | 2,925 | 3,218 |
| その他 | 1,617 | 1,652 |
| 固定負債合計 | 70,444 | 60,517 |
| 負債合計 | 135,620 | 126,551 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 20,625 | 20,625 |
| 資本剰余金 | 43,799 | 43,795 |
| 利益剰余金 | 48,519 | 51,837 |
| 自己株式 | △13,045 | △12,942 |
| 株主資本合計 | 99,898 | 103,315 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,013 | 8,067 |
| 為替換算調整勘定 | 708 | 588 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 681 | 602 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,403 | 9,258 |
| 非支配株主持分 | 2,072 | 2,048 |
| 純資産合計 | 107,375 | 114,621 |
| 負債純資産合計 | 242,995 | 241,173 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 100,439 | 97,553 |
| 売上原価 | 67,574 | 62,125 |
| 売上総利益 | 32,865 | 35,427 |
| 販売費及び一般管理費 | 26,476 | 27,580 |
| 営業利益 | 6,389 | 7,847 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 122 | 94 |
| 受取配当金 | 370 | 362 |
| 持分法による投資利益 | 197 | 81 |
| 物品売却益 | 56 | 28 |
| その他 | 67 | 177 |
| 営業外収益合計 | 815 | 743 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 46 | 50 |
| 為替差損 | 331 | 395 |
| その他 | 22 | 4 |
| 営業外費用合計 | 399 | 450 |
| 経常利益 | 6,805 | 8,140 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,604 | 10 |
| 投資有価証券売却益 | 18 | 11 |
| 持分変動利益 | 276 | 14 |
| 受取和解金 | 585 | — |
| その他 | 122 | — |
| 特別利益合計 | 2,607 | 36 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 197 | — |
| 投資有価証券評価損 | 280 | 48 |
| 事業構造改善費用 | 359 | 434 |
| その他 | 2 | 4 |
| 特別損失合計 | 839 | 487 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 8,573 | 7,689 |
| 法人税等 | 2,373 | 2,687 |
| 四半期純利益 | 6,199 | 5,001 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △2 | △204 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 6,202 | 5,206 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 6,199 | 5,001 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,287 | 4,053 |
| 土地再評価差額金 | △10 | — |
| 為替換算調整勘定 | △253 | △122 |
| 退職給付に係る調整額 | △13 | △78 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △26 | △24 |
| その他の包括利益合計 | 1,984 | 3,827 |
| 四半期包括利益 | 8,183 | 8,829 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 8,218 | 9,061 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △34 | △231 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|---------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 8,573 | 7,689 |
| 減価償却費 | 1,887 | 1,930 |
| のれん償却額 | 36 | 35 |
| 減損損失 | 197 | — |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △15 | 185 |
| 返品引当金の増減額 (△は減少) | △1,438 | △1,207 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 20 | 113 |
| 受取利息及び受取配当金 | △493 | △456 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △197 | △81 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △1,604 | △10 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 11,767 | 3,069 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △1,448 | △2,330 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △4,072 | △3,348 |
| 前受金の増減額 (△は減少) | △630 | △2,296 |
| その他 | △1,583 | 621 |
| 小計 | 10,998 | 3,913 |
| 利息及び配当金の受取額 | 726 | 688 |
| 利息の支払額 | △46 | △45 |
| 法人税等の支払額 | △2,986 | △2,029 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 8,692 | 2,526 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の純増減額 (△は増加) | △16,229 | 12,315 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △10,097 | △12,388 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 2,335 | 41 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,228 | △1,591 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △58 | △10 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 114 | 71 |
| その他 | 95 | 380 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △25,067 | △1,182 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 79 | 62 |
| 長期借入金の返済による支出 | △57 | — |
| 非支配株主からの払込みによる収入 | 156 | — |
| 自己株式の取得による支出 | △3,000 | △6 |
| 配当金の支払額 | △1,297 | △1,888 |
| その他 | △54 | △62 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △4,173 | △1,894 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △249 | △123 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △20,797 | △674 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 56,123 | 38,151 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | — | 371 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 35,325 | 37,849 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|--------|-------|-------------|--------------|---------|--------------|----------------------------|
| | 出版 | 映像 | ゲーム | Web サービス | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 55,360 | 15,928 | 7,583 | 13,098 | 8,442 | 100,412 | 27 | 100,439 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 843 | 132 | △6 | 60 | 1,047 | 2,077 | △2,077 | — |
| 計 | 56,204 | 16,060 | 7,576 | 13,159 | 9,489 | 102,490 | △2,050 | 100,439 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 3,308 | 1,760 | 1,888 | 1,591 | △1,167 | 7,381 | △992 | 6,389 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、教育事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△992百万円の主な内訳は、セグメント間取引消去24百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益473百万円、全社費用△1,490百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|--------|-------|-------------|--------------|---------|--------------|----------------------------|
| | 出版 | 映像 | ゲーム | Web サービス | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 59,556 | 13,069 | 8,287 | 10,823 | 5,790 | 97,527 | 25 | 97,553 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 573 | 163 | 13 | 37 | 2,737 | 3,524 | △3,524 | — |
| 計 | 60,129 | 13,232 | 8,301 | 10,861 | 8,527 | 101,051 | △3,498 | 97,553 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 4,680 | 842 | 2,804 | 1,209 | △1,457 | 8,079 | △232 | 7,847 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、教育事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△232百万円の主な内訳は、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益20百万円、全社費用△254百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

中期経営方針における成長事業領域の位置付けに合わせ、当第2四半期連結会計期間より、従来の「映像・ゲーム」を「映像」と「ゲーム」に区分して記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。